

アカツメクサ (赤詰草)

名前の意味^{いみ}：詰め草は、オランダからガラス器具など壊れやすい物^{こわ}を運ぶ時、パッキングとして利用され、それから芽生えたため^{めば}に名付けられた。赤は花の色を示す。ムラサキツメクサということもある。

分類：双子葉類、マメ科、シャジクソウ属

(マメ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：エンドウ、アズキ、ソラマメ、ダイズ、ラッカセイ)

好きな場所：日当たりのよい空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：3枚に分かれた葉、丸く集ったたくさんの濃い^こピンク色の花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数^{りべん}：離弁、5枚

花の時期：4—5月

食べ方：若い葉は塩ゆでするとおひたしで食べられる

見分け方：シロツメクサとは、アカツメクサのほうが茎^{くき}が立つこと、葉が大きいこと、花が濃い^こピンク色であることで区別できる。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)